

平成30年3月期

# 決算概要

---

平成30年5月11日



株式会社ビーアールホールディングス

# 主要数値の実績

売上高減収 営業利益・経常利益 2年連続増益 当期純利益 7年連続増益  
受注高及び経常利益・当期純利益は過去最高！

	前期実績	当期計画	当期実績	前年増減額	計画増減額
受注高	31,465	32,000	37,451	+5,986 (19.0%)	+5,451 (17.0%)
売上高	24,366	27,500	23,669	▲696 (▲2.9%)	▲3,831 (▲13.9%)
売上総利益	3,424	3,660	3,880	+456 (13.3%)	+80 (2.2%)
営業利益	1,372	1,500	1,674	+302 (22.0%)	+174 (11.6%)
経常利益	1,328	1,450	1,632	+304 (22.8%)	+182 (12.6%)
当期純利益	899	900	1,025	+126 (14.0%)	+125 (13.9%)
1株当たり当期純利益(円)	24.84	23.17	26.36	+1.52	+3.23
ROE (%)	25.0	18.0	20.4	▲4.6	+2.4

過去最高額！

百万円

過去最高益！

# 次期の業績予想及び配当

過去最高の売上高および経常利益、当期純利益 ・ 3年連続増配!!

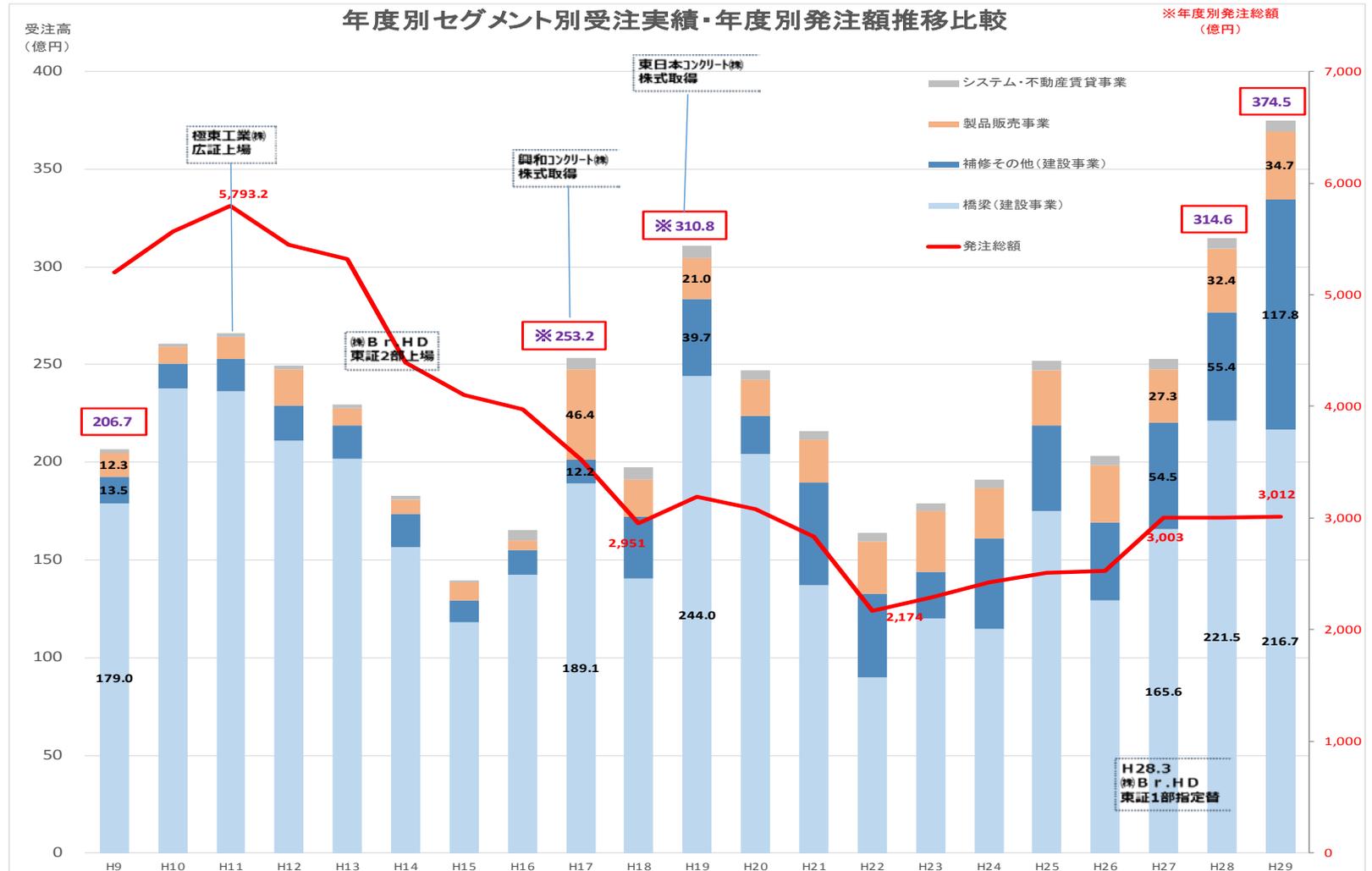
百万円

	H30.3期	H31.3期 予想	増減額	増減率 %
売上高	23,669	28,000	+4,331	18.3
売上総利益	3,880	4,000	+120	3.1
営業利益	1,674	1,700	+26	1.5
経常利益	1,632	1,650	+18	1.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,025	1,100	+75	7.3
1株当たり当期純利益 (円)	26.36	28.23	+1.87	-

	H30.3期	前期比	H31.3期 予定	前期比
1株当たり年間配当金	5円50銭 (中間2円50銭)	+2円	7円 (中間3円)	+1円50銭
連結配当性向	20.9%	+6.8%	24.8%	+3.9%

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、平成28年9月30日を基準日とした中間配当金(1株につき3円)は、分割後の1円50銭として計算しております。

# 年度別セグメント別受注実績・年度別発注額推移比較



※年度別発注総額は、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会の調べによる統計値です  
 ※H11年度の受注高には興和コンクリート(株)の全株式を取得したことに伴い、興和コンクリート(株)の繰越高56億円が含まれております。  
 ※H19年度の受注高には東日本コンクリート(株)の全株式を取得したことに伴い、東日本コンクリート(株)の繰越高54億円が含まれております。

## 当期の主な受注工事（建設事業）

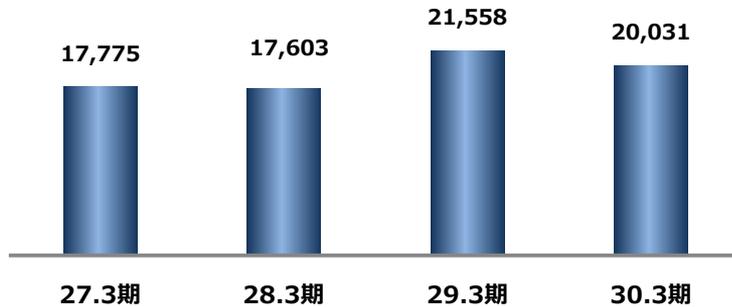
工事名称	発注者
北陸新幹線、白山・加賀間軌道スラブ製作運搬	鉄道建設・運輸機構 鉄道建設本部大阪支社
九州新幹線（西九州）、大村・長崎間軌道スラブ製作運搬	鉄道建設・運輸機構 九州新幹線建設局
平成29年度県債復道1-27-A02号（仮）相川1号橋上部工工事	宮城県
舞鶴若狭自動車道 石原高架橋他1橋（PC上部工）工事	西日本高速道路(株)関西支社
北陸新幹線、北島橋りょう（PCけた）	鉄道建設・運輸機構 鉄道建設本部大阪支社
北陸新幹線、第2中ノ江橋りょう（PCけた）	鉄道建設・運輸機構 鉄道建設本部大阪支社
中央新幹線自立式ガイドウェイ側壁製作保管（関東地区）	東海旅客鉄道(株)中央新幹線推進本部中央新幹線建設部
平成29年度県債社道復興12-20-002号（仮）浦宿橋上部工工事	宮城県
東北中央自動車道下小国橋上部工工事	国土交通省 東北地方整備局
新東名高速道路 杉名沢第一高架橋（PC上部工）工事	中日本高速道路株式会社東京支社
新東名高速道路 滝沢川橋他1橋（PC上部工）工事	中日本高速道路株式会社東京支社
砺波東バイパス いかるぎの大橋上部その1工事	国土交通省 北陸地方整備局
関上漁港広浦橋上部工外工事	宮城県

# セグメント別情報

## 建設事業

### 売上高(累計)

(単位：百万円)

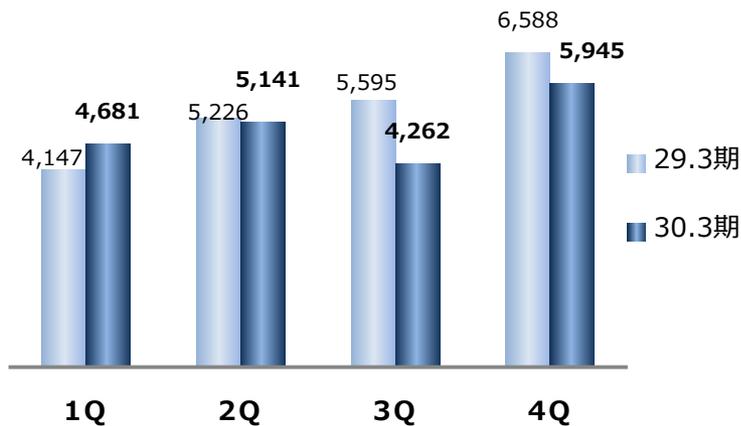


### 売上高 200億31百万円 (対前期比7.1%減)

- 手持工事の大型化により進捗率が伸びず
- 追加工事による工期延期
- 下部工遅れによる工期延期

### 売上高(四半期別)

(単位：百万円)



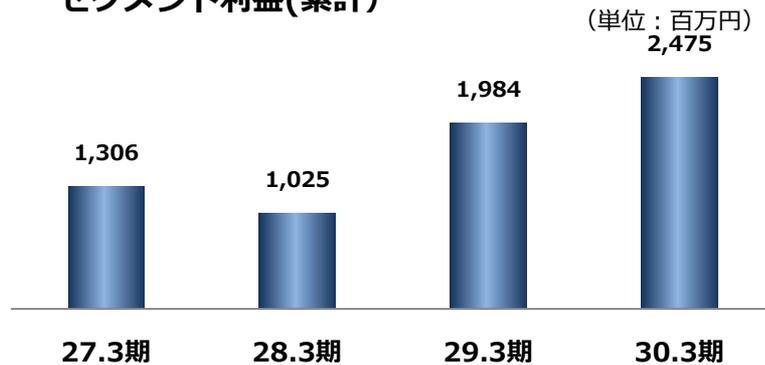
### 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
29.3期	+10.4%	+78.8%	+38.0%	▲4.1%	+22.5%
30.3期	+12.9%	▲1.6%	▲23.8%	▲9.8%	▲7.1%

# セグメント別情報

## 建設事業

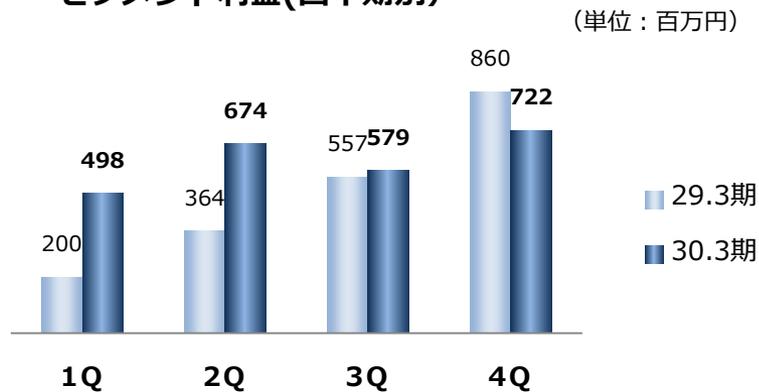
### セグメント利益(累計)



### 利益 24億75百万円 (対前期比24.7%増)

- 粗利益の増加
- 不採算工事の減少
- 完成工事補償引当金取崩し

### セグメント利益(四半期別)



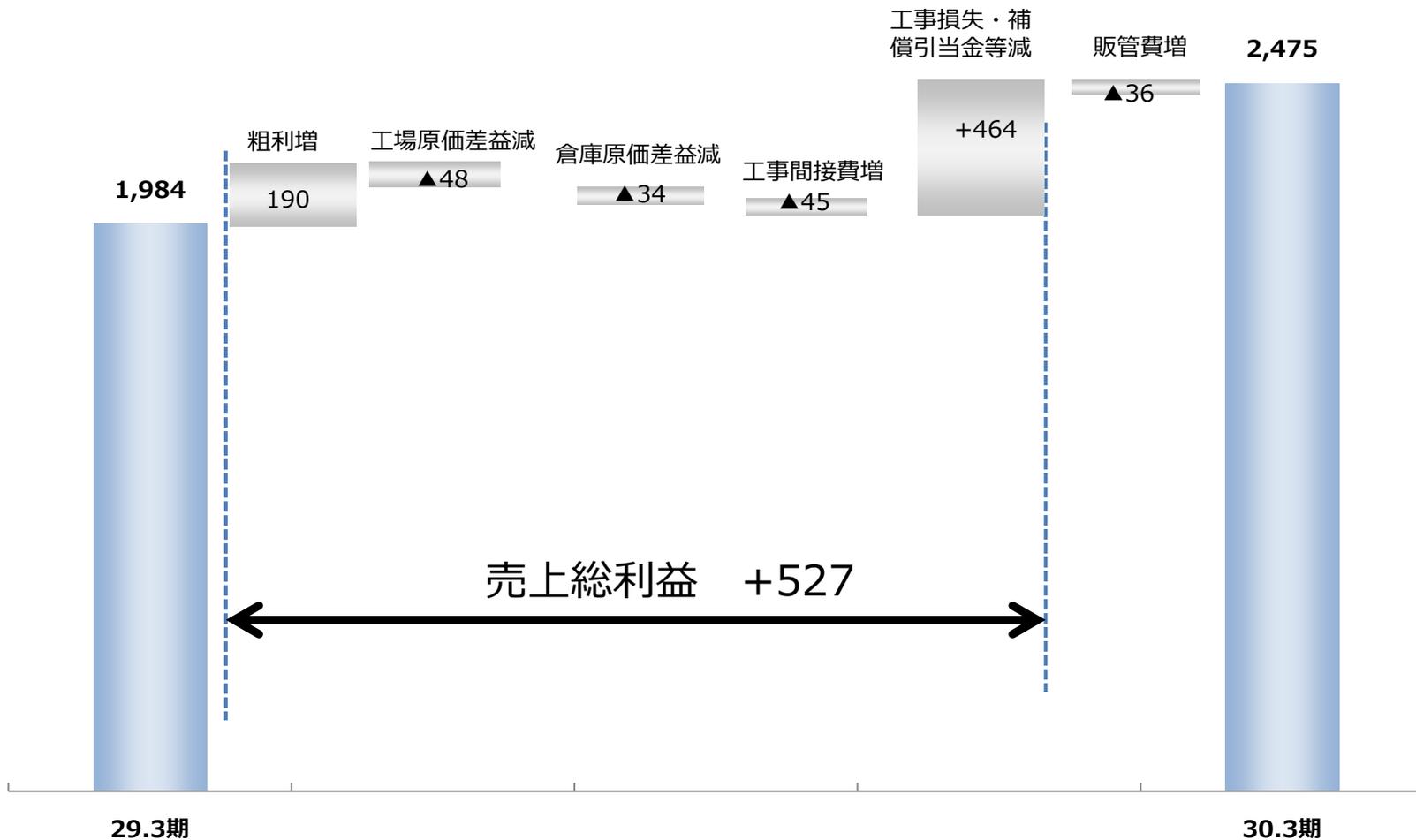
### セグメント利益 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2016年	+335.8%	※-	+30.5%	+56.6%	+93.6%
2017年	+148.2%	+84.9%	+3.9%	▲16.0%	+24.7%

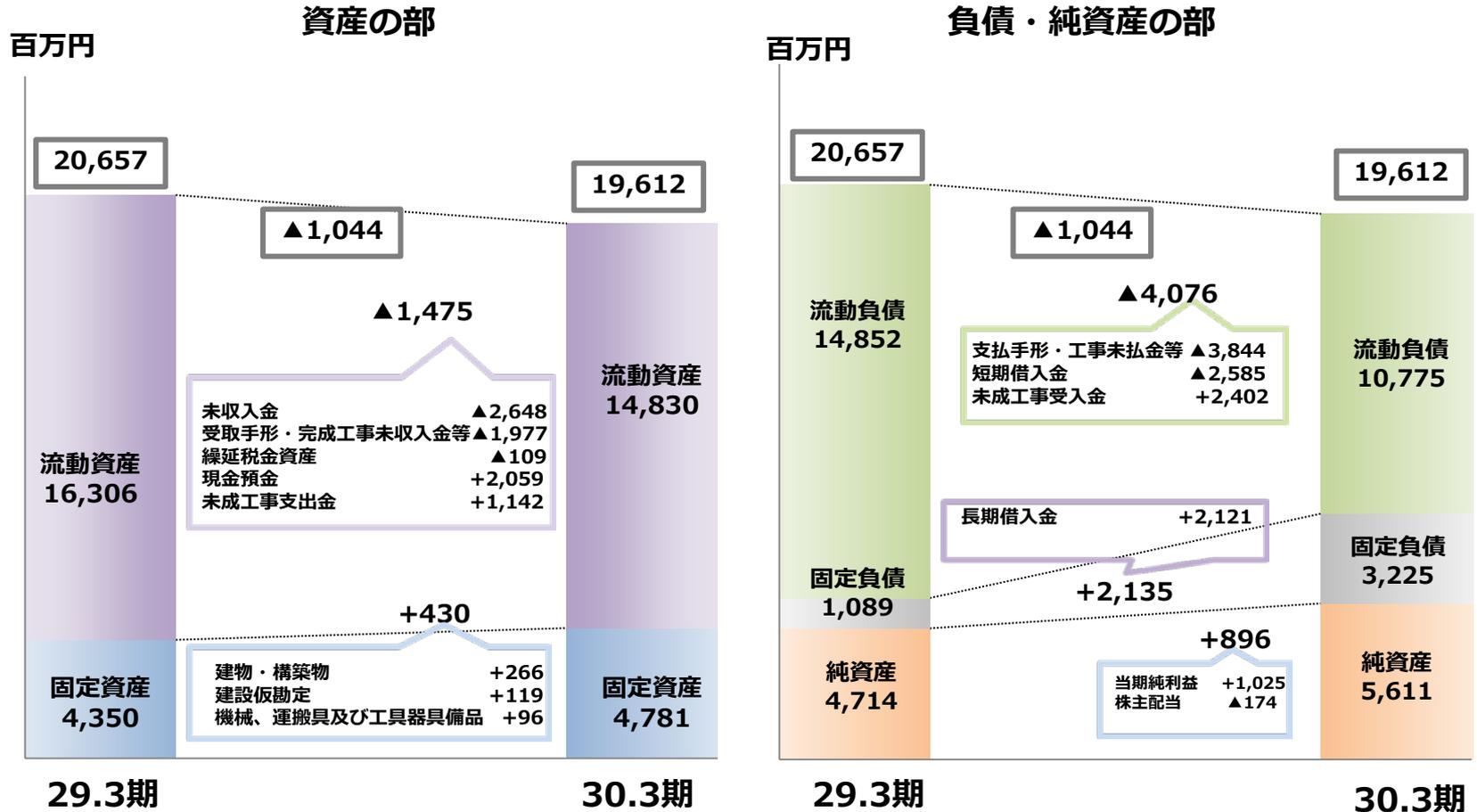
※2015年2Qのセグメント利益は1百万

### セグメント利益増減 (前年同期差)

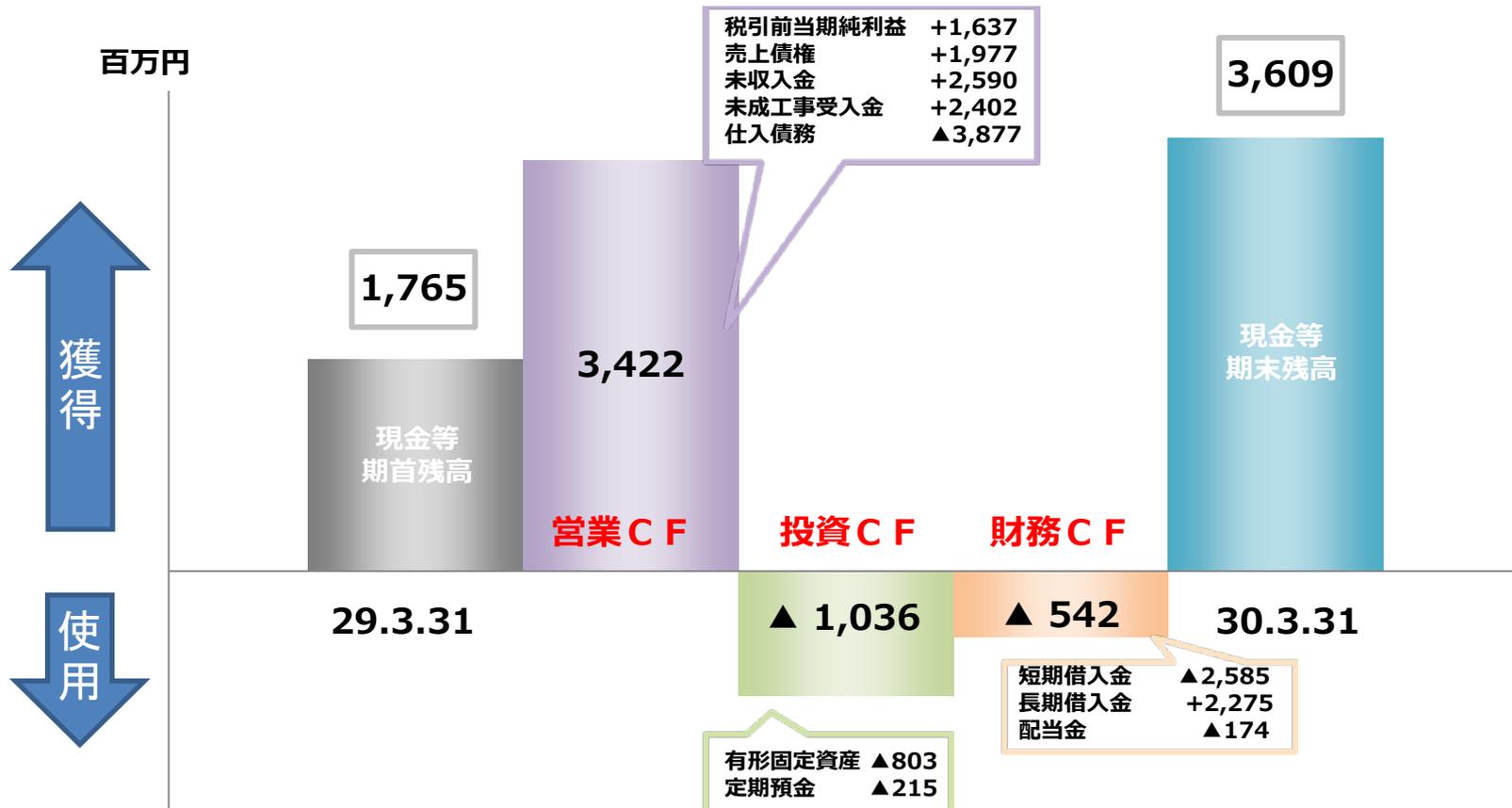
(単位：百万円)



# 連結貸借対照表



# 連結キャッシュ・フロー



## 【参考】発注先別受注高、売上高、手持高（建設事業）

百万円

H29.3期	期首手持高	当期受注高	当期売上高	粗利益※	粗利率%	期末手持高
国交省	6,536	4,132	7,420	1,125	15.2	3,248
その他官公庁	6,682	7,450	6,397	1,216	19.0	7,734
NEXCO	7,006	8,214	3,717	201	5.4	11,503
JRTT	-	2,562	-	-	-	2,562
民間	1,155	5,325	4,024	893	22.2	2,457
計	21,379	27,683	21,558	3,435	15.9	27,504

H30.3期	期首手持高	当期受注高	当期売上高	粗利益※	粗利率%	期末手持高
国交省	3,248	5,167	4,623	975	21.1	3,792
その他官公庁	7,734	9,716	7,029	1,212	17.2	10,421
NEXCO	11,503	3,851	4,182	436	10.4	11,172
JRTT	2,562	9,286	144	12	8.3	11,704
民間	2,457	5,436	4,054	990	24.4	3,840
計	27,504	33,456	20,031	3,625	18.1	40,929

- ✓ JRTT、宮城県からの受注が大幅に増加したことにより受注高対前期比20.9%増、期末手持高48.8%増（宮城県受注額4,878百万円 対前期比63.6%増）
- ✓ 期末手持高40,929百万円は過去最高額

※粗利益には、過年度原価、工場、倉庫及び工事内勤者の共通原価は含めておりません。